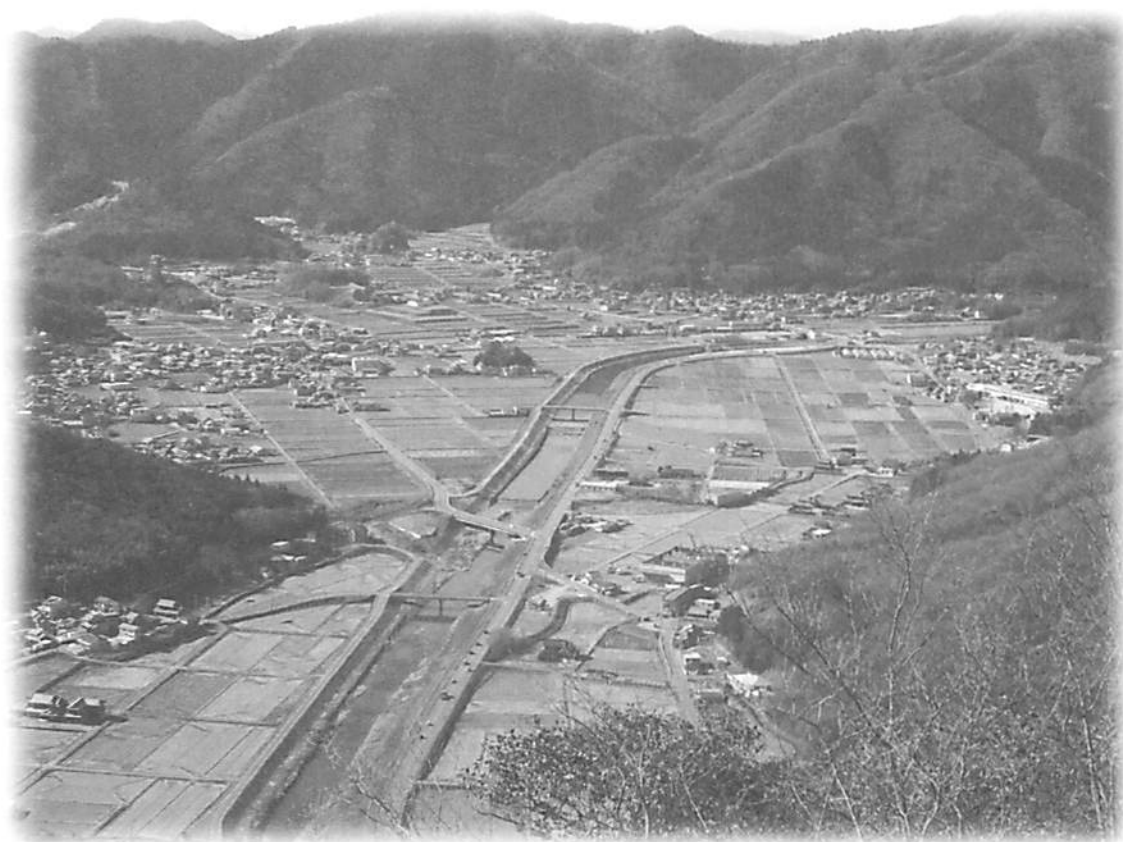


人にやさしく 自然にやさしく 夢ひらく里 芳田

— 法太の里 “ゆめ” プラン2015 —



平成28年（2016年）3月

法太の里 “ゆめ” 委員会

目 次

1	“ゆめ”プラン策定の背景	1
2	まちづくりの目標と方針	3
3	みんなで取り組むこと	4
1)	ふれあいのある美しい芳田づくり	4
①	自然ゆたかな、美しいまちづくり	4
②	芳田をつなぐ交流プログラムの開催	4
③	ふらりと集まれる交流の場づくり	5
2)	安心して、夢をもって暮らせる芳田づくり	5
④	若者～高齢者が暮らしやすいまちづくり	5
⑤	子どもが夢をもって学び・遊べるまちづくり	6
3)	仕事と情報発信のある芳田づくり	6
⑥	ふれあい直売所の拡充	6
⑦	芳田の特産品と観光の開発	6
4)	持続するまちづくりのマネジメント	7
⑧	組織と運営の充実	7
4	まちづくりの手順	8
	資料：法太の里“ゆめ”委員会の記録	9
	第1回 芳田を知ろう！	10
	第2回 前まちづくり計画の評価	11
	第3回 こんな芳田をつくりたい！	14
	第4回 若者会議	15
	第5回 まちづくりの進め方	18
	第6回 “ゆめ”プランの検討	19
	第7回 先進地の視察	20
	第8回 まちあるき	22
	芳田の里”ゆめ”委員会名簿	24

1 “ゆめ”プラン策定の背景

○概況

- ・西脇市西南部の野間川と支流の出合川に沿った8町(落方町、明楽寺町、水尾町、岡崎町、上王子町、合山町、出会町、八坂町)で構成される農村的地域(18km²,市域の14%)。
- ・播磨国風土記に「法太里(はふだ)」の記述があるなど古くから栄えたところ。
- ・人口減少や高齢化傾向が見られる。(住民基本台帳、4月1日時点)

	世帯数	人口	世帯人員	年少人口比率(%)	老年人口比率(%)	高齢単身世帯
H23年	826	2,206	2.67	12.1	26.9	82
H27年	820	2,075	2.53	11.7	30.0	125

- ・幹線道路として主要地方道西脇八千代市川線、主要地方道多可北条線が通っており、地区と西脇市の中心部、多可町八千代区、加西市とを結んでいる。
- ・鉄道駅はない。バスは、JR西脇市駅と多可町を結ぶ神姫バスが一日5往復ある。

○自然・歴史資源などが豊富

	資源
自然	野間川、サクラ並木、田園景観、角尾山、キャンプ場、空気・空・星・水・花・山菜・紅葉、生き物(ホタル、カスミサンショウウオなど)
歴史	明楽寺町の街並み、六所神社、大日寺
レクリエーション	西脇であいの里(木谷山キャンプ場・里山林)
農と食	米、イチゴ、クリ、ふれあい直売所

○少ない生活施設と働く場、人のつながりへの高い評価

- ・商店や医院、バスの本数も少なく、高齢層を中心に生活が不便な人も多い。
- ・人のつながりと近隣づきあい、目の行き届く学校教育などが若年層に評価されている。
- ・働く場が少ないこともあり都会へ出て行く人が多い。Uターン者の中には芳田の良さを再認識する人が多い。芳田地区に住む人が交流できる新しい場づくりへの関心が高い。

○地区の活動は活発、まちづくりはこれから

- ・H18年11月に芳田地区まちづくり計画を策定
- ・ふれあい会議は、さくらまつり、スポーツ、花いっぱい、ふれあいまつり、イルミネーション、ハイキング、カレンダー、ふれあい直売所など、年間を通じて活発に活動。



野間川



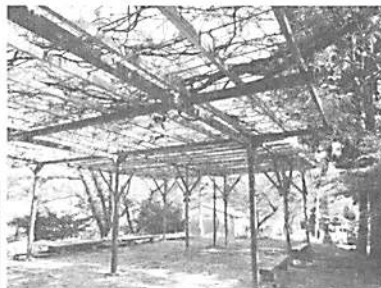
ふれあい直売所



芳田小学校



芳田の里ふれあい館



六所神社の藤



馬事公苑

- ・年間行事を開催することに忙しく、次の時代に向けたまちづくりを考える余裕がない。ふれあい会議の中心である区長の任期が2年と短く、持続的なマネジメントに課題。
- ・ふれあい直売所、夢うさぎなど、女性たちの新しい活動が始まっている。子育て層も忙しいながら各団体で活動。これらの人たちのまちづくりへの積極的な参加が期待される。

法太の里“ゆめ”プラン2015は、このように芳田地区の状況が変化する中で、住民が安心して暮らせるとともに、次の時代に向けて持続するふれあいと活力ある芳田を育てるために策定します。

《芳田地区の概況》



[出典：マピオン]

《法太の里“ゆめ”委員会の開催経緯》

	月日	内容	会場
1	7月27日	「芳田を知ろう」 ・芳田の資源・魅力、問題・課題	芳田の里ふれあい館
2	8月27日	「前まちづくり計画の評価」 ・できたこと・できなかったこと、こうありたい	芳田の里ふれあい館
3	9月29日	「こんな芳田をつくりたい」 ・目標像と取り組みの内容	芳田の里ふれあい館
4	10月8日	「若者会議」 ・日頃思っていること・こんな芳田にしたい	芳田の里ふれあい館
5	11月26日	「まちづくりの進め方」 ・中心プロジェクトをどう進めるか	芳田の里ふれあい館
6	12月15日	「“ゆめ”プランの検討」 ・プラン骨子の説明と意見交換	芳田の里ふれあい館
7	1月23日	「先進地の視察」 ・公共施設跡地のコミュニティ活用例	里山工房くもべ
8	2月13日	「計画の共有」 ・まちあるき	芳田の里ふれあい館
9	3月17日	「計画の共有」 ・プランの発表	芳田の里ふれあい館

2 まちづくりの目標と方針

■まちづくりの目標(骨子)

- ・芳田は、播磨風土記の昔から続いてきた、自然、歴史、人、食べ物に恵まれるところ。
- ・人口の減少と高齢化。商店や公共施設が減少。生活がしにくくなっている。
- ・若い人は、子育てしやすい環境に満足。人が減り、働く場がない中で、子どもたちや芳田の将来にやや不安。
- ・芳田ふれあい会議を中心に地域活動が活発だが、頑張りすぎの声もある。
- ・若年層～高齢層まで、安心して暮らせる地域、ざっくばらんな交流を求めている。
- ・暮らしやすく、若さや元気もあり、次代にバトンタッチできる芳田づくりを芳田のみんなで進めるために、約10年先を見通したまちづくりの目標を次のように定めます。

人にやさしく 自然にやさしく 夢ひらく里 芳田

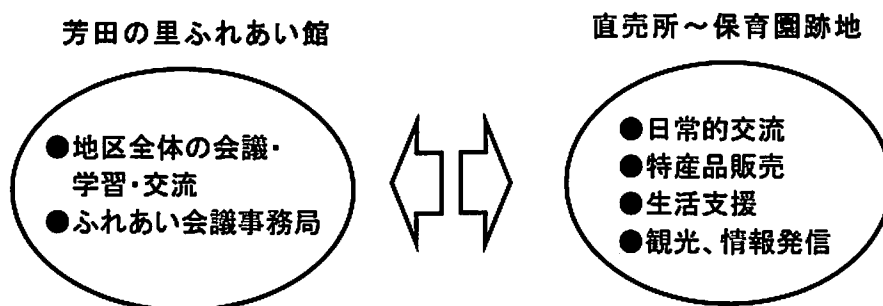
■まちづくりの方針

○芳田の力をつなぎ、外に向かって発信します

- ・安心して笑顔で暮らせる10年後の芳田をつくるために、芳田の人の力を引き出し、つなぎます。芳田の魅力を外に向けて発信するとともに、活力ある芳田づくりのために、外の力も活用します。

○新しい芳田の核を育てます

- ・芳田の里ふれあい館とともに、生活、交流、販売、観光、情報発信などの機能を備えた、芳田内外の人が集う新しい芳田の核を育てます。



○ふれあいとともに、まちづくりマネジメントをめざします

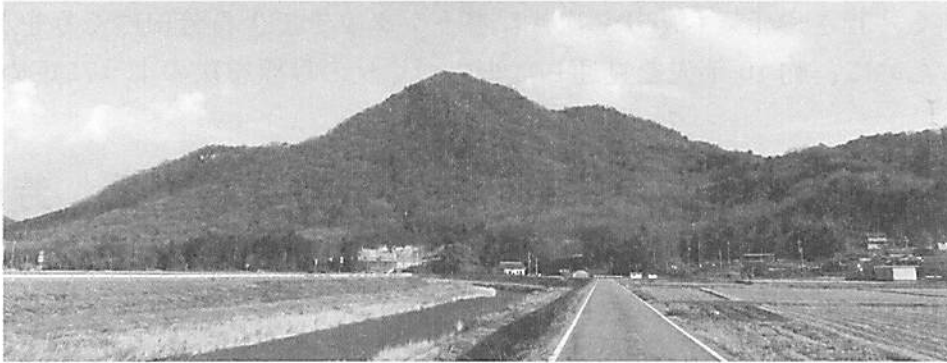
- ・芳田の課題を解決し、持続する芳田をつくっていく「芳田ふれあい会議」を育てます。そのために、長期的な視点で責任ある運営ができ、より自発的・主体的に参加できる組織づくりをめざします。

3 みんなで取り組むこと

1) ふれあいのある美しい芳田づくり

①自然ゆたかな、美しいまちづくり

- 山・田圃・集落がつくる美しい田園風景をこれからも守り・伝えます。
- 「芳田地区クリーン作戦」「芳田の里花いっぱい運動」「芳田街道イルミネーション」などによる美しいまちづくりを続けます。
- 角尾山が人々に親しまれるよう、登山道の整備などを続けます。



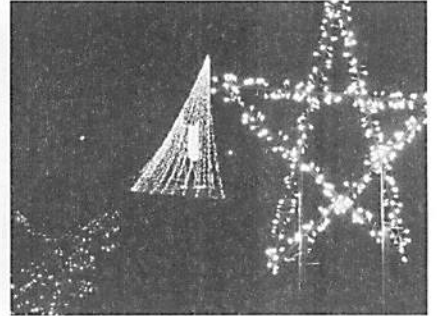
角尾山と野間川



芳田クリーン作戦



芳田の里花いっぱい運動



芳田街道イルミネーション

②芳田をつなぐ交流プログラムの開催

- 「芳田ふれあいまつり」「芳田ふれあいスポーツフェスティバル」など、芳田の人々をつなぐ交流プログラムを今後も進めます。芳田の魅力の再発見やまちづくりにつながる新しいプログラムの企画開催なども進めます。



芳田ふれあいまつり



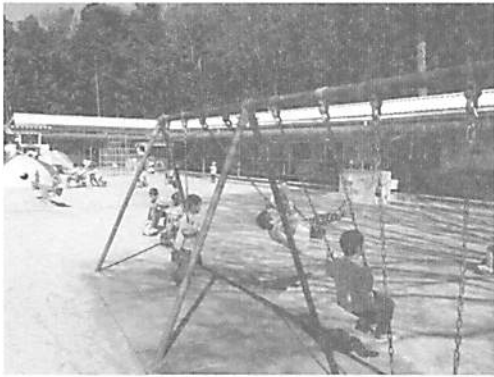
交流グラウンドゴルフ大会

③ふらりと集まれる交流の場づくり

- 認定こども園の整備を契機に、現保育園の跡地などを利用して、いろいろな世代が日常的に集まって交流できる場を育てます。

《保育園跡地の利用イメージ》

- －いろいろな世代が集まって利用できる場（ママと子が時間を過ごせる／子どもの学習と生きる・考える力を養う（寺子屋）／駄菓子コーナー／グループで使える）
- －カフェ&ライブラリー（お茶、読書、軽食、談話）
- －イベントの開催（セミナー／フリーマーケット／おもちゃ・本の交換／星の観察）
- －住民による運営と支援（おやじの会、シニアなど）、入口の坂の解消など高齢者への配慮
- －ふれあい直売所、認定こども園との連携



芳田保育園



跡地利用の例(篠山市里山工房くもべ)

2) 安心して、夢をもって暮らせる芳田づくり

④若者～高齢者が暮らしやすいまちづくり

- 買物が困難な高齢者だけでなく、若い人も芳田で楽しく暮らせる環境づくりを進めます。
－例：ふれあい直売所の商品の拡充、オシャレな店舗の誘致、長期的な移動販売など
- 通院等が困難な高齢者等のために、移動手段の整備について検討します
－例：地区による送迎ワゴン車等の運営
- 山や田の管理が困難な世帯を地区全体でサポートする仕組みについて検討します(例：田んぼの管理の受付窓口設置、草刈り十字軍など)
- 災害に強い地域づくりのために、消防団への加入を勧め、地区全体で応援します。



移動販売の例(西脇市比延地区)



送迎バスの例(丹波市市島町)

⑤子どもが夢をもって学び・育つまちづくり

- 子どもが笑顔で育つよう、家庭・学校・地域の連携、見守り隊の充実、歩道や防犯灯の整備などを進めます。
- 芳田に魅力を感じ、芳田の力になってくれる若いU・Iターン者を増やします。芳田の魅力(自然、少数学級、近隣関係)を発信し、空き家情報の収集・提供なども進めます。

3)仕事と情報発信のある芳田づくり

⑥ふれあい直売所の拡充

- ふれあい直売所が買物、休憩・交流、情報提供などの場として、地区内外の人々に利用されるよう、商品・サービス、組織運営などの充実を進めます。
 - ー商品(野菜・果物・米、加工品、クラフトなど)、目玉づくり、観光情報/開店日時や組織運営の検討(時間拡大、法人化、参加者増と有償化など)/入りやすい環境づくり(道からのアクセス、雰囲気、看板)/屋外の利用(オープンカフェ、ピザ釜、広場など/話題性のある環境・風景づくり(田んぼの花園)、保育所跡地等と連携
- 将来的に「道の駅」への発展をめざします。



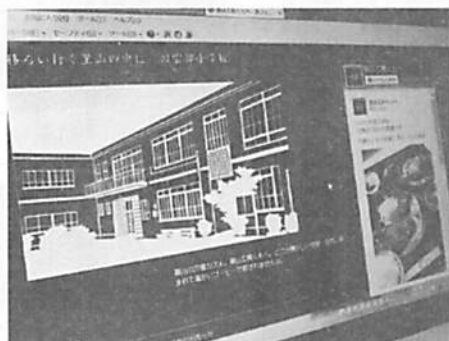
ふれあい直売所



カフェとスタッフ

⑦芳田の特産品と観光の開発

- ふれあい直売所、事業者、U・Iターン者などと連携して、特産品の開発、カフェ・レストランなどの立地を進めます。
 - ー例:イチゴジャム、窯焼きピザ、芳田の酒・ワイン、鹿肉を利用したレストラン
- 直売所を起点に芳田めぐりをしてもらえるよう、芳田の情報を収集・発信します。
 - ー直売所や店舗での情報配備(マップ、カード、チラシなど)、SNSを利用した情報発信



ホームページの例(篠山市里山工房くもべ)

4) 持続するまちづくりのマネジメント

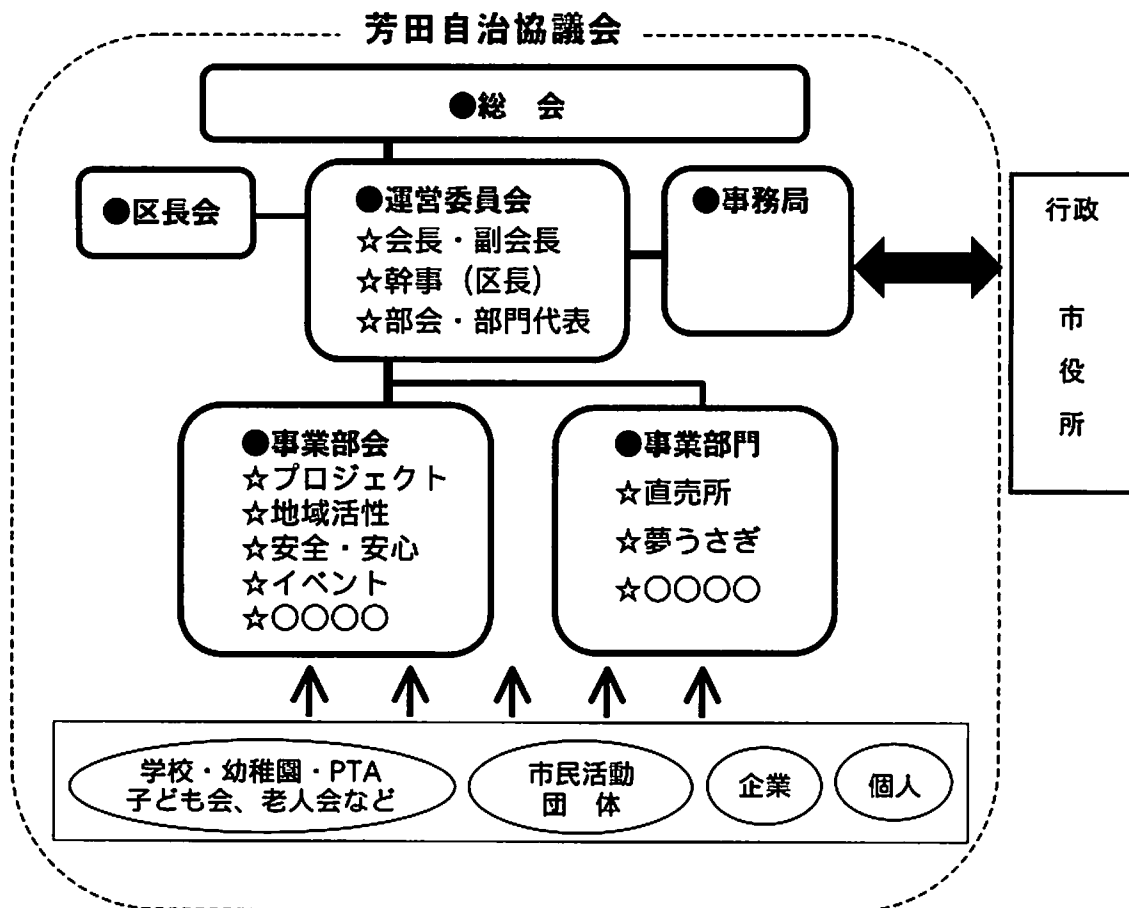
⑧ 組織と運営の充実

● 芳田の持続するまちづくりのために、芳田ふれあい会議の組織と運営を充実します。

- 「ふれあい」とともに「マネジメント」を重視した組織へ
- 中長期に職を担える中核役員構成（区長に限らない、3～5年の任期）
- 企画運営への若人・女性の参加、独立した事業部門の設置
- 合意形成と周知、行事や参加・集客などの見直し


● より広範な団体や人の参画によるまちづくりのために、区長会と芳田ふれあい会議の組織の今後のあり方を検討するとともに、地域の実情に即した地域自治協議会への移行を検討します。

《芳田自治協議会のイメージ》



4 まちづくりの手順（案）

		1～2年	3～5年	6年～
1) ふれあいのある美しい芳田づくり	① 自然ゆたかな、美しいまちづくり	○クリーン作戦、花いっぱい運動、イルミネーションなど（継続）		
	② 芳田をつなぐ交流プログラムの開催	○ふれあいまつり、スポーツフェスティバルなど（継続） ○新しいプログラムの開発		
	③ ふらりと集まれる交流の場づくり	●準備会設置、利用・活動・運営の研究、調整	●改修整備、活動・運営スタート	
2) 安心して、夢をもって暮らせる芳田づくり	④ 若者～高齢者が暮らしやすいまちづくり	●生活用品の拡充（直売所）	○移動手段の検討→実現 ○支え合いの仕組みづくり	
	⑤ 子どもが夢をもって学び・遊べるまちづくり	○学校・家庭・地域の連携	○空き家情報の収集提供 ○U・Iターン者の受け入れ	
3) 仕事と情報発信のある芳田づくり	⑥ ふれあい直売所の拡充	●商品の充実、組織・運営再編、看板等の整備	●商品・機能、施設・環境の拡充、道の駅化の準備	●道の駅登録
	⑦ 芳田の特産品と観光の開発	●特産品開発、観光開発、店舗立地、情報発信などの研究	○マップなど地域・観光情報の提供（直売所）	○店舗誘致、道の駅の観光拠点化
4) 持続するまちづくりのマネジメント	⑧ 組織と運営の充実	●組織・運営に関する協議	●組織・運営の拡充・再編	

※  は重点取り組み

資 料

法太の里 “ゆめ” 委員会の記録

■第1回 芳田を知ろう!(7月27日 芳田の里ふれあい会館)

テーマ	○ここが好き・財産	●ここが問題・なんとかしたい
自然・風景	<ul style="list-style-type: none"> ○緑・自然が多い(角尾山、田圃、野鳥) ○自然(山の景色・紅葉、田圃風景、霧)がきれい ○空気がきれい、霧がきれいな里 ○生き物(ギフチョウ、ホタル、モリアオガエル、野鳥) ○季節を感じられる ○真夏の夜の星空 ○子どもの自然の遊び場がある ○花の名所(水尾町の梅・イチョウ、六所神社のフジ) ○野間川と散策コース ○花壇がきれい(合山・落方町) 	<ul style="list-style-type: none"> ●川の水が汚い(野間川など) ●獣害(シカ、イノシシ) ●マムシ、カエルが多い
人・コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人(まじめ、明るい、おっとり、優しい、温かい、親切、人情味ゆたか) ○地域のつながり(近隣のつきあい、子どもの守が頼める) ○地域の交流がある(墓・公会堂の掃除、自然保全、Gゴルフ) ○少人数教育(幼・小学校) ○ふれあい直売所の参加協力者が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ●少子高齢化(子ども・若者が少ない) ●都会に出た若い人が帰ってこない ●人の結びつき・横のつながりが少なくなった ●封建的、出る杭は打たれる ●自己中心的な人が多い ●空き家が増えている
暮らし(買い物・交通・医療・遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ○芳田小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ●買い物等が不便(店・コンビニ・スーパー・GS・ATMがない) ●病院が遠い ●子どもを安心して遊ばせる遊び場・公園が少ない ●通学時間が長い(合山町など) ●居酒屋がない
農業・仕事	<ul style="list-style-type: none"> ○酒米 ○食材がうまい(米、イチゴ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事をする場所、職・企業が少くない
歴史・文化・観光	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツが盛ん ○歴史がある(風土記、狐塚、二ヶ坂、奥山寺、八王子神社、祭り、旧芳田村) ○馬事公苑 	<ul style="list-style-type: none"> ●文化的施設がない
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○住むのに安全(水害などが少ない) ○消防団が市民の安全を守っている ○有線放送が災害時などに便利 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所がない ●交通安全に問題(道路の横断、歩道がない、道が狭い、家が途切れている、街頭がほしい、R34の交通量が多い) ●交通の便が悪い(バスなど)
まちづくり		<ul style="list-style-type: none"> ●特段の個性・魅力がない ●外から人が入って来にくい ●ランドマークがない ●地域の財産を生かしてきれていない ●市街化調整区域の制限 ●土地購入に関する制限?

■第2回 前まちづくり計画の評価(8月27日 芳田の里ふれあい会館)

1 素晴らしい自然を守ろう!

計画	総合評価	計画の内容	評価	コメント	継続度	
①山や河川の自然保護や里山の維持管理に努めるとともに、自然とふれあえる空間を整備します。	2.5	・モリアオガエル、ウツボグサ、ホタル等の保全	3.8	・自然のままにしている/「自然を守る」意識を育てる	5.0	
		・「西脇であいの里」等の里山の管理・復活	1.9	・運営は無理か	0.6	
		・「里山祭り」の復活の検討				
		・角尾山の休憩所、案内板の整備	3.8	・角尾山は必要/親子で楽しめる機会をつくる/角尾山は動いている	5.0	
		・アウトドアライフが楽しめる空間の整備				
②清掃や美化活動などを推進し、美しい田園風景や伝統的な集落景観を大切にしていきます。	5.0	・野間川の保全整備(河川公園の整備、花が楽しめる川、水質の保全、ヌートリア対策)	5.0	・取り組みはできている	5.0	
		・里の緑、集落の趣を大切に(田園風景、集落景観)	2.5	・良いところは残す	3.3	
		・クリーンアップ事業(地域ぐるみの美化、ゴミステーションのデザイン)	5.0	・取り組んでいる	5.0	
		・ゴルフ場開発跡地の緑化	0.0	・していない/手が出ない	0.0	

2 高齢者が元気で便利に暮らせるまちにしよう!

計画	総合評価	計画の内容	評価	コメント	継続度
①「生きがい」につながるふれあい活動等を振興します。またふれあい館等に簡単なりハピリや介護施設を設置することを検討します。	4.4	・交流や共同作業の場としての公園、ふれあい館、集会所等の整備充実	3.8	・河川、ふれあい直売所/河川公園の利用はある	3.8
		・達人マップづくり、小学校での達人授業などを通じた世代間交流	4.4	・小学校での取り組みは進んでいる/芳田の達人(小学校)、世代間交流/小学校で実施/達人マップは未、学校では達人が行っている(竹とんぼ、料理)	4.4
		・生きがいのための、身近な資源を生かした仕事づくり	1.9	・直売所では取り組んでいる/生きがいと仕事/直売所(ソフト面)、高齢者の生きがいにしている	3.8
②通院・買い物支援や緊急時の近隣住民での助け合いシステム等について検討します。	2.5	・声かけ、介護、付き添いなどの助け合いの仕組みづくり	2.5	・声かけはしている、介護はできていない/行政の仕組みあり/近隣応援体制	3.3
		・福祉タクシー、コミュニティバスなどの検討	3.8	・実施できず(予約タクシー)/検討したが実施は難しい/検討したが実施できなかった(制度上無理)	2.5
③3世代居住を推奨していきます。	0.0	・3世代居住の推奨、住宅改造のための助成・技術援助	0.0	・していく必要はある/仕組み/人間関係難しい、それぞれの事情がある	2.5

3 住みやすいまちにして、人を増やそう!人を呼ぼう!

計画	総合評価	計画の内容	評価	コメント	継続度
①交流人口増加のため、多くの人々が集えるグラウンドの整備を推進し、滞在型の農業体験や自然学習ができる仕組みや施設についても検討します。また、定住人口増加策についても検討します。	2.5	・定住人口の確保 一都市計画法の範囲内で住宅建設の検討 一若い人向けの公営住宅等の建設・誘致 一若年世帯の形成・定住の方策	0.0	・法律的に無理な面がある/スイーツファクトリーで2名確保、調整区域の規制が厳しい、人口は減少している	2.5
		・交流人口の増大 一地区規模のイベント・祭りの開催 一滞在型の施設の整備検討(貸農園等)	3.1	・馬の里まつり/ふれあい祭り/さくらまつり/盆踊りなどがなくなっている、JAが貸農園をやっている	3.8
		・買い物、行政・医療サービスの整備 一地域による店舗経営(スーパー等)の検討(農協跡地の活用)、市役所コーナー設置の検討依頼、往診医療などの検討	1.3		2.5
②「道の駅」の設置、ふれあい館の充実、馬事公苑一帯の有効活用を検討。	1.9	・魅力ある集客施設づくり 一道の駅の設置検討、ふれあい館の充実 一馬事公苑周辺での集客・観光施設整備 一近隣・広域利用できるグラウンドの整備	2.5	・ふれあい館、実現していない/直売所できた/馬事公苑が閉鎖(交流しにくい)/直売所継続・ふれあい直売所ができた	5.0
③県道市道等の改良など体系的な道路網の整備を要望・推進します。	1.9	・交通の利便性を高める 一通院・買物、送迎などの交通の研究	0.0	・不便さを解消したい	3.3
		・体系的な道路網の整備を推進(西脇八千代市川線の歩道、野間川の右岸道路、市道合山出合線・木谷山線の改良)	2.5	・できているところとできていないところ/右岸道路は舗装された	5.0
④だれでも気軽に、自由に発言できるように、古くからの生活習慣等について再考します。	0.0	・煩わしい生活習慣の改善や廃止に取り組む	0.0	・やすらぎ園ができたので改善された、みぞ音請などは仕方がない	3.3
		・だれでも発言できるコミュニティづくり(新しい社会活動団体づくりなど)	0.0	・取り組んでいない	3.3

4 みんなの応援で、子どもたちをスクスク育てよう！

計画	総合評価	計画の内容	評価	コメント	継続度
①子育てを支援するサポーター制度について検討します。また地域の人材や自然を活用し、世代間交流の促進や情操教育に努めます。	2.5	・地域ぐるみの子育てを進める（退職者等によるサポーター制度、学童保育の充実）	1.3	・必要である	3.8
		・芳田の知恵・技の伝承、愛着の育成（「芳田の達人講座」、自然の活用）	3.8	・小学校でやっている／「子どもの心」を育てるために	5.0
		・子育て・ふれあい拠点の整備（小学校、農協跡地、グラウンド整備候補地一帯）	0.6	・グラウンドについては話し合いをしたが実現していない／検討はしたが・・・	2.5
		・登下校時の安全パトロール等の実施	3.8	・やっている町はある／個人でやっているが組織化はできていない	5.0
②市全体としての少子化対策の検討を要望します。	0.0	・少子化対策の要望（3人目からの祝い金等）	0.0	・していない	1.3

5 魅力ある特産品づくり、活力ある企業を誘致・育成しよう！

計画	総合評価	計画の内容	評価	コメント	継続度
①無農薬野菜、イチゴやクリなどのブランド化の検討を行います。また、観光農園や木谷山キャンプ場等を利用した観光・レクリエーション産業等についても再検討します。	2.5	・企業の誘致・育成に取り組む（農産物の加工販売、木材・竹などの特産品づくり関連）	1.3	・出会町では企業が進出している	5.0
		・無農薬野菜、イチゴ、クリのブランド化	5.0	・会社がクリを作っている／クリは失敗した、旬菜館／出会町に農業法人が進出している（スイーツファクトリー事業）	5.0
		・観光レクリエーション産業の再検討（観光農園・木谷山キャンプ場の充実・PR）	2.5		5.0

6 安全で安心なまちにしよう！

計画	総合評価	計画の内容	評価	コメント	継続度
①声掛け運動を推進する。街頭の整備や道路沿いの樹木の適正管理を実施。	1.9	・日常的な声かけなど安全を確認する運動	1.9	・誰でも声をかけられない／不審者扱い（世の中の流れ）／運動としてはやっていない	4.4
		・新合山・出会町方面への道路の街灯整備	2.5	・できている	3.8
②交通安全運動を盛り上げます。	1.9	・交通マナーの遵守	1.9	・交通安全教室をする（9月）／2～3年に1回研修会を	4.4
		・見通しが悪い道路の樹木剪定（所有者責任）	0.6	・市道	3.1
③地震・水害等に備えてハザードマップを作成し、防災訓練に取り組む。	4.4	・避難路・避難所を記したハザードマップ作成と防災訓練	4.4	・取り組んでいる／防災訓練、図上訓練／2～3年に1回研修会を／防災訓練はしている、避難所がない	5.0

7 歴史を見直そう！

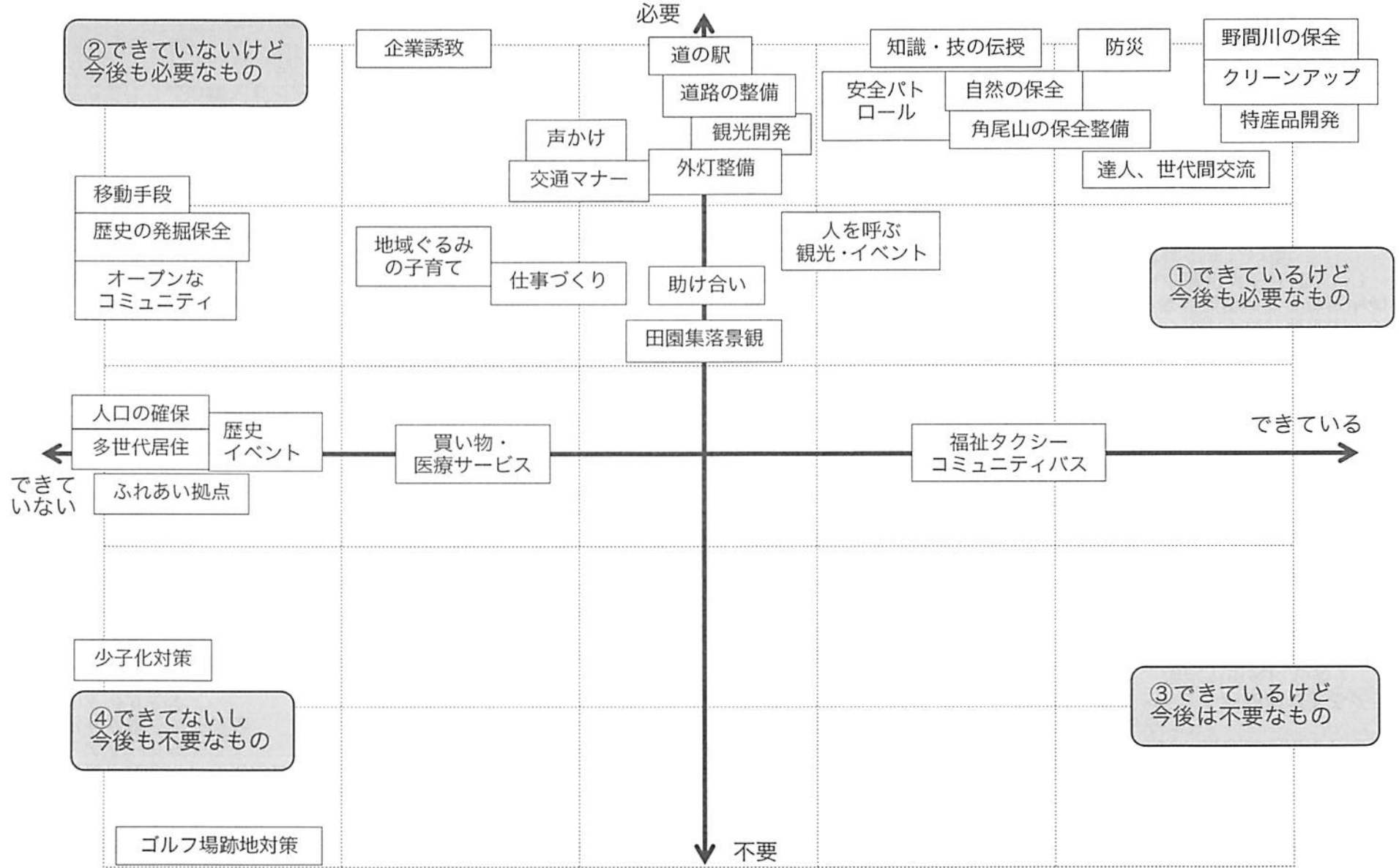
計画	総合評価	計画の内容	評価	コメント	継続度
①地域の歴史や文化、伝統を見直し、案内板等の設置や伝統行事の復活を試みます。西脇市全体の歴史文化の保全とPRのためのイベントや、歴史的な趣を演出する道路や公共空間などの整備について検討します。	0.0	・歴史文化を伝える案内板・看板の取り付け	0.0	・なくなるものはあるが復活はない／何がされたか誰も知らない／地域の歴史を分かり易くまとめる	3.8
		・市の歴史文化を伝えるイベント、道路・公共空間の整備	0.0		2.5

※○：5、△：2.5、×：0を与えて集計の後に平均値を算出。

※3を上回るものに色づけ

□	0～3未満	（あまりできていない、あまり必要でない）
□	3以上～4未満	（ややできている、やや必要）
□	4以上～5	（かなりできている、かなり必要）

前まちづくり計画の評価 まとめ



■第3回 こんな芳田をつくりたい！（9月29日 芳田の里ふれあい会館）

A班「ゆめの里・法太」	B班「芳田は運命共同体」	C班「元気イキイキ法太の里」	D班「Dグループの心」
<p>《豊かな自然とふれあう里》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜の里芳田、紅葉の里 ・田園風景を残したい（見た目がきれい、のんびり感じる） ・老若男女が集う大花見会 ・角尾山を登りやすく ・サイクリングロード（親子で）、芳田一週めぐり道路（散歩道） <p>《やすらぎの里》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村カフェテラスでお茶を飲める ・保育所の跡地をいこいの場にする、寺子屋にする ・グループ制のフリーマーケット（保育所の跡地） ・音楽・デザインをする若者が集まる芳田 ・喫茶コーナー（家のなかに眠っている健康器具を置く） <p>《助けあいの里》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が安心して通学できる芳田地区（親が安心できる） ・交通手段の確保のため芳田地区を回るバスを用意する ・共同生活 ・草刈り十字軍が走り回る芳田 <p>《ものづくりの里・交流の里》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモのツルの佃煮 ・特産品づくりと市民農園の連携 ・芳田特産物（健康野菜に絞って：モロヘイヤ、ゴーヤジャム） ・直売所の販売時間を延ばす ・直売所で手作り品の幅をもっと増やせるか ・直売所から道の駅へ 	<p>《楽しめる生活》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現保育園の活用（カフェ、幼児の遊び場、芳田の特産品を作る） ・芳田を縦断する野間川を活用したイベント（明楽寺～八坂） ・芳田のおみこし大集合 <p>《安心な生活》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食糧品購入のための交通機関、販売店・方法づくり ・ケアハウス等の必要性に対応 ・歩道をつける（水尾橋～加西の道） ・災害（火・水・地震）に負けない組織力・地域力（自衛消防など） <p>《やりがいのある生活》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアハウス等の必要性に対応 ・芳田で仕事ができると・・・ ・流出人口の防止 ①企業誘致、市街化調整区域の廃止運動 ・企業誘致をする（人口を増やす） ・昼間人口（働く人、観光）増える <p>《他の人がうらやむ生活》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿肉を利用しジビエレストラン ・地酒法太、芳田ワインづくり ・目玉をつくる（道の駅、直売所） ・観光農園の活発化 ・芳田歴史街道を整備する ・観光業で成り立つ町（観光開発） <p>《未来を感じる生活》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがいる町（子育て世代誘致） ・子どもが住みやすく、学校以外に遊べる場がある <p>《進め方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表区長の長期政権 ・芳田村として独立できる組織力（協働） ・市街化調整区域からの脱却 	<p>《ふれあい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫茶店がほしい ・地域の人が集える場所をつくる ・子ども達がサッカーやバレーなど遊べる場所がほしい（学校以外） ・地域のまつりを維持（個人と集団とのバランス） <p>《地域の情報》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌を月一回程度発行する ・芳田でのケーブルテレビ放送 ・インターネットを無料でつけてほしい <p>《芳田の宝》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直売所周辺を整備 ・直売所に品物を出してほしい ・直売所に足を運んでほしい ・直売所に関わる人を増やしたい ・だれもが気軽に立ち寄れる場所 ・直売所は野菜だけでなく何でも置けるコンビニ的施設にしたい ・特産物（品）をつくる <p>《老後の安心、安心して過ごせる地域》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車の運行 ・自動車に乗らなくても生活できるまちづくり ・コミュニティバス並みのバス運賃を 	<p>《交流（中での）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民間の交流（気軽に集まるところの確保） ・地域住民が気軽に利用できる施設があること ・大人と子どもが交流できるグラウンド、施設が中央に必要！ ・野間川の活用（魚釣り大会など） ・地区全体の盆踊りや秋祭の開催 ・老人と子どもの交流（保育園活用） ・ふれあいまつりにもっと多くの人が参加できるように ・多くの人が集まる施設・場所 ・若い人が中心のおもしろい企画 <p>《交流（外との）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験イベントなど ・観光農園の活用 ・ふれあい直売所を道の駅にする ・角尾山ハイキングコース整備 ・案内 <p>《高齢者にやさしい街》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動手段、福祉タクシー ・高齢者等が利用できる地区内のワゴン車の運用があればよい！ ・高齢者にやさしい街 <p>《安心・安全》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊の組織づくり、通学の見守りを充実させる ・通学路の防犯灯を充実させる ・災害時の安心安全の確保 <p>《保育園の活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園の活用（子どもの家のような感じ） ・芳田の中心施設として保育園活用 ・喫茶店、第二販売所 ・イチゴの加工場

■若者会議(10月8日 芳田の里ふれあい会館)

参加者：芳田地区の若者23名、アドバイザー山本

1 自己紹介

2 意見交換

- E・芳田は小さいまちだから、村の役(子ども会、PTAなど)が当たって忙しい。ふれあい会議で高齢の人たちが決めたことに動員される。そんなこともあるけど、いろいろな人と知り合えるし、人がみんなやさしい。今日の会議は意義があると思っている。
- G・自分たちが小学生だった昭和47年に児童数200人だったのが、現在は100人と1/2に減少している。原因は少子化の影響もあるけど、同級生の多くが都会に出て行っているから。魅力がないのかと思ってしまう。芳田で住める環境をつくるのがまず大切。
 - ・“ゆめ”委員会で芳田の宝について話し合ったとき、子どもをあげる人は一人もいなかった。一番の宝は子どもではないか。
- I・“ゆめ”委員会は、現実的すぎて夢がない。買物、移動手段の問題などが出されているけど、コンビニや店がひとつでもあり、少々高くてもみんなが利用するようになれば解決する。出た人が帰ってこないのは、仕事がないから。住める環境づくりが大切。
- E・芳田がいいところだから25年前に都会から帰ってきた。芳田は、空気がいい、渋滞がない、車に乗る人は野村や西脇に行けば店もある。地元の人でなくても、10年住めば家を建てられるようになった。西脇は、現在の人口4万人が将来2万人になると想定されているけど、人口減少を前提に検討していけば、安心して楽しみながら住めるまちを作れる。今はなくなった移動販売車も復活できないか。
- K・“ゆめ”委員会で問題になっている買い物の問題も、若い人は野村あたりで買えるので問題ない。ふれあい会議がやっているイルミネーションには、子ども会なども招集されるけど、本当に必要か。もともと好きな人たちで始めたものでもあり、好きな人でやったらいい。
 - ・芳田の人間関係が薄れている。消防団もとりあえず入れれば知り合いが増えてたのしい。けど最近家はいる人(勤めに出ない人)でも入らない。年配の人も「消防団にはたいへんお世話になっている」と公式の場と言うけど、「消防団に入らなければならない」とは言わない。
- L・火事になっても消防車は1~2台しか来ない。地域の防災は消防団が担っていると思っている。消防団員は定員93人。昔は入りたくても入れない時代があったけど、今は親も「子どもが決めることだから」と言って、子どもにも会わせてくれない。
- A・鹿児島から芳田に来て13年。色々な役をするうちに知り合いが増えている。芳田の人は温かいし、子どもたちは学年に関係なく遊ぶ。芳田はいいところだと思っている。
- I・年末年始などは、年末警戒などで忙しいけど、いろいろな集まりは大切。若い人を強制的にでも入れる方が良い。神経質になってプライバシーの問題と言わない方が良い。芳田は温かいところ。
- Q・一度神戸に出て帰ってきた。子どものことを考えると、芳田は住みやすいところ。大人は、消防団とかに入っていないと知り合いもできなくて居づらい。他所から入ってくる人は少ない。他所から入ってこられる環境づくりが必要。
- S・父が早くなくなったので、母の世話をするために芳田に残っている。村で人が亡くなったら、2日間会社を休む。村の仕組みが時代について行っていない。母が亡くなったら、神戸などへ出て行くかもしれない。
- I・10年間東京にいた時は好き勝手ができしたが、それにも疲れ、親もいたので芳田に帰ってきた。だから芳田の良さが分かる。芳田の強みは、自然、人のつながり。弱みは仕事がないこと。

- O・出会町に住んでいるけど、バスサービスがないので、高齢の1～2人住まいで車に乗れない人は買い物、病院などで困る。小学校まで4kmあり、通学時間は約1時間。1年生の子どもは、今は6年生の近所の子どもと一緒にいるけど、来年は一人で行くことになる。車で送ることも考えるけど、一人で頑張っていくのがいいと思っている。
- K・八坂町もうちの子を入れて2人。子どもを合山町まで車で送って、子どもは合山町の子どもと一緒に学校へ行っている。
- ・以前、コミュニティバスが走らせないかとふれあい会議に検討をお願いしたけど返事がなかった。多可町と西脇を結ぶ神姫バスが運行している。芳田地区外までコミュニティバスを走らせると、市との協定に違反することになって現在の路線バスがなくなる（地区外とを結ぶコミュニティバスの運行は難しい）ことを最近知った。連絡があれば納得したが、尻切れトンボになっていたので不信に思っていた。
- T・“ゆめ”委員会のメンバーだけど、夜7時半に始まるのは主婦としては厳しい。“ゆめ”委員会は、年配の人は買い物や移動手段のことなどで楽しそうだけど、若い世代は子どもたちが住みやすいまちにするのはどうしたらよいかに関心があり、ややギャップを感じている。
- ・子どもたちが集まれる場があればいい。直売所の近くであれば、高齢者の方々がいるので安心して遊ばせられる。現在は、子どもが寄る場所は、水尾橋近くの回転焼き屋ぐらい。子どもたちの世代が大きくなったとき、楽しそうに暮らせるまちになればいいなと思っている。
- B・福祉関係の仕事をしている。芳田の高齢者は、デイサービスとかに行くとき、「芳田やけど行けますか？」と言うらしい。それだけ、西脇の中でも遠い、不便なところと思っているようだ。でも「〇〇さんのお母さん」ではなく、〇〇さんでわかり合えるところ。そんな芳田はいいところだと思う。
- C・芳田は子どもの数が少ないこともあって、子ども同士が仲良しで、お母さんたちもやさしい。先生が目も行き届く。芳田はいいところ。
- D・落方町に来て10年になるが、杉花粉が多い。
- F・茜が丘に住んでいるが、八坂町に住むおばあちゃんの家から芳田小学校に通わせている。子どもの数が少ないので先生が目も行き届き、ありがたい。子どもは、週末におばあちゃんの家泊まって、別荘のような生活を送っている。芳田に住んでいないのによく知ってもらっているというイレギュラーなつきあいをさせてもらっており、ありがたい。
- H・若い頃就職が決まっていたけど父が亡くなって芳田にとどまった。村のつきあいはいろいろある。10～15年先に車で移動できるかどうかを考えると、コミュニティバスや移動販売車がいるのではと思う。まず人が住めないといけない。
- V・結婚して芳田に住み始めて8年。役をするのは今年がはじめてだけど、消防団に入って楽しい。これから芳田のことをもっと知りたい。
- ・子ども～大人までが集まる大きめの公園のような場所があればいい。そうすれば、芳田の人がもっと知り合えるし、外からも人が集まり、近くに店もできるのでは？
- J・独身なので、休日は神戸や大阪に遊びに行く。芳田や西脇は楽しめるところが少ない。結婚すると、家をどこに建てるか、野村あたりがいいかなと思っている。
- M・野村に住んでおり、就学前の子どもが二人いる。子どもを野村と芳田のどっちの小学校に通わせようかと迷っていたけど、今日は芳田が子育てに恵まれているところと分かったのだから、来て良かった。
- N・芳田のことをこれまで考えたことがなかった。今日の会議をきっかけに芳田のことを考えていきたい。
- P・芳田は市街化調整区域にあるので、家も建てられず、そのうち農地も維持できなくなる。

活力がなくなる要因ではないか。

- R・幼稚園に通う娘がいる。地域のことよりも趣味のテニスが楽しいので、小野、三木、丹波などへテニスに出かけることが多い。
- U・お母さんたち、先生たちも問題ない。ただ、会議が多く、保育園、子ども会など、役も多すぎる。役員の顔ぶれもいつも同じ。人が少ないので仕方ないけど、もっと要領よくできたらいい。

3 意見のまとめ

《芳田の強みと弱み》

- ・自然が豊か、空気がきれい
- ・人のつながり（やさしく温かい、お母さんたちも仲が良い、子どもは学年を越えて遊ぶ）
- ・子どもが少ないので先生が目が行き届き、教育環境が良い
- ・若い人が都会へ出て行く、働く場がないのが原因か？

《高齢層と若い層》

- ・高齢層は、買い物、医者通い、移動手段などに関心がある
- ・若い層は、子どもたちが夢を持って楽しく暮らせるまちづくりに関心がある
- ・このように高齢層と若い層の間に意識のギャップがある

《地区の集まり、行事、役、しきたり》

- ・地域の集まりは面倒くさいようでも入れば知り合いができて楽しい
- ・地域の集まりに強制的でも入れるべき
- ・行事や会議が多い、簡略化したり効率化できないか
- ・今の時代とギャップのあるしきたりや仕組みがある

《ふれあい会議》

- ・高齢層がふれあい会議で決めて、若い層に動員をかけるのはやや迷惑
- ・ふれあい会議の動きや検討内容を住民に伝える工夫が必要

《集まって交流できる場》

- ・子ども～大人～高齢者が集まって交流できる場がほしい
- ・保育所跡地、高齢者のいる直売所の近くなどがいい

《働く場》

- ・人が出て行かない、人が入ってくるために、働く場が必要

《買い物、移動》

- ・新しい移動手段の確保、店舗の立地や移動販売などが必要

■第4回 まちづくりの進め方：中心プロジェクトをどう進めるか（11月26日 芳田の里ふれあい会館）

	A班「改革と充実」	B班「芳田のみらいへ」	C班「芳田の活性化を考える」	D班「芳田の核づくり」
保育所跡地について	<p><利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が親子で集える場 ・図書コーナー（読んで音楽を聴いてお茶が飲める） ・特技紹介、趣味のコーナー ・フリーマーケットができる場所（地区外の人にも貸出す） ・芳田の歴史を語る写真展開催 ・子どもの成長を祝う会 ・落語会、講演会、季節のイベント ・芳田ギネスブック大会 <p><整備改造></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具の活用と充実 ・高齢者のためにバリアフリー化 	<p><利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺子屋（学習、生きる・考える力をつける） ・居酒屋にする ・桜の木などを植える（建物壊す） <p>※多世代交流は保育所跡地いいのか（安全、防災、使い勝手の面から）</p>	<p><利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・0～2歳児が過ごす場所に ・キャンプや星観察ができる場所 ・フェンスでボール遊び可能に ・子育て学習センター的な場所へ ・おもちゃや本の交換場所 ・地域の人が楽しめるいこいの場 ・大人が学習できる場所がほしい ・食事ができる場所 ・調理室を活用したい ・フリーマーケットを開く場 ・陶芸教室などの教室をする ・ドッグランつき喫茶店 ・グランドゴルフ場にしては？ <p>※維持管理をどうするのか</p>	<p><利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館的なもの ・寺子屋（ボランティアが宿題見る） ・駄菓子屋を運営（お母さん交代） ・若い人、グループで使える場 ・カフェ、調理室で作って食べる ・本を自由に読める ・高齢者が利用できる ・夢うさぎの花いっぱい施設に <p><整備運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆるいスロープへ、駐車場OK ・若い人の企画・アイデアで ・おやじの会が支援（夜店など） ・爺婆が支援、放課後一緒に遊ぶ ・定年退職後の先生が支援
直売所について	<p><利用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品の開発・販売 ・オープンカフェ、フリーマーケット ・小公園・遊び場、ミニサッカー場 ・子供、若者が参加できるイベント <p><整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・道のそば・同レベルで（車対応） ・おしゃれな看板を設置 <p><運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織見直し（営業日・時間帯、NPOなど法人化、時給制） ・個人の店と連携（たこ焼きなど） 	<p><利用・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピザを焼き配達・持ち帰り ・ピザの具材、金ごまをつくる ・インターネットなど整備 ・貸農園をつくる ・芳田地区外の人呼び込む <p><運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織見直し（増員、時給制、法人化、販売方法） ・交通手段、移動販売車を整備 ・保育所で加工、直売所で販売 <p>※直売所の土地は規制が多い</p>	<p><利用・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事ができる場所 <p><運営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・直売所へ農産物を出す努力 ・活動できる人の養成 ・保育園で移動販売 ・看板の設置 ・ホームページ ・マスコットキャラクター 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の場 ・駄菓子屋さん→保育所跡へ ・販売品
その他			※避難所をどうするのか	<p>※認定子ども園に1700㎡残る活用を考える必要あり（子ども達の運動場、防災センターなど）／1.5m地上げで避難は安全</p> <p>※水辺にある芳田公園は子ども達にあぶない</p>

■第5回「まちづくり計画案の検討」(12月15日 芳田の里ふれあい会館)

	A班	B班	C班	D班
タイトル	●ゆめプランのタイトルとして、4案の中から「人にやさしく 自然にやさしく 夢ひらく里 ほうた」を選んだ。			
	「好きです芳田」	「誇れる故郷 うれしい未来 たくさんつくるぞ」	「人にやさしく 自然にやさしく 夢ひらく里 ほうた」	「好きです！自然 もっと好きです！！思いやり みんなが輝く芳田の里」
重要な計画	●「自然の保全」「安心できる暮らし」「子どもの成長」など、生活の基盤となる内容が選ばれている。「直売所の拡充」も重視されている。			
	①自然ゆたかな、美しいまちづくり ④若者～高齢者が暮らしやすいまちづくり ⑥ふれあい直売所の拡充	⑥ふれあい直売所の拡充 ③ふらりと集まれる交流の場づくり ⑤子どもが夢をもって学び・遊べるまちづくり	①自然ゆたかな、美しいまちづくり ⑤子どもが夢をもって学び・遊べるまちづくり ④若者～高齢者が暮らしやすいまちづくり	①自然ゆたかな、美しいまち ④若者～高齢者が暮らしやすいまちづくり ⑤子どもが夢をもって学び・遊べるまちづくり
組織運営への意見	●役員構成の見直し、任期の見直し、若者の登用と育成、若者・女性の参加などの意見が出された。			
	<ul style="list-style-type: none"> 役員構成の見直し／中核の役員構成／バランスのとれた組織づくり／専従で運営／各層から選出／若者の登用 企画運営への若人・女性の参加／継続できる若者を選ぶ 中長期に職を担える人材の育成／若手の育成 組織の整理と機動性を整える 会長・副会長の任期3～4年 マネジメントを重視しNPOを立ち上げる ふれあい会議の活動をチラシなどで住民に知らせる 行政との連携を深める やらされるからやる会へ 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が中心で活動する 長期的(3～5年)な経営層・スタッフ やる気・モチベーションだけに頼らない(やる気・モチベーションのある人をほったらかし、丸投げにしない) 住民が助けることができる 		
その他				・暮らしやすいまちづくりのためには、防災拠点の整備が不可欠

■第6回「先進地の視察」（1月23日 里山工房くもべ見学）

〈案内・説明いただいた人〉

雲部地区まちづくり協議会 梶谷郁夫会長
LLP 里山工房くもべ 今井進代表

- ・平成22年4月、雲部小学校は城東小学校への統合に伴い閉校。児童数が激減して教育上の問題も指摘されたから、統合（閉校）に地域は肯定的だった。再び地域に賑わいをつくろうと、廃校ではなく閉校と言って活用の方法の検討を始めた。
- ・県の助成により、若手グループ「プラグ」から「エリアマネージャー」を受け入れて地域づくりの検討を始めた。平成23年度に県の「ふるさと自立計画推進モデル事業」に採択され、ワークショップを開催し、雲部小学校の跡地利用や6次産業づくり、都市農村交流などを内容とする自立計画「1500年の未来に向けたほんものの田舎づくり」策定。
- ・自立計画を策定する前に、大阪市内の木工製品の企業から木工の研修と宿泊施設に活用したいとの申し出があったが、調印の直前に断りがあった。期待していた木工所が来なくなったことが、逆に新しい計画・事業化へのバネになった。
- ・平成24年3月に「プラグ」の企画により社会実験イベント「木と紙と土展」を開催。16日間に1500人（半数以上が市外）を集め、都会から人を集められるとの感触をつかみ、カフェをスタートする自信になった。
- ・平成24年に県の「ふるさと自立計画モデル推進事業（実践トライやる事業）」（150万円）に採択。パッケージデザイン、チラシ作成、備品購入（中古冷蔵庫など）などを行った。
- ・平成25年、県の「ふるさと自立計画推進事業（自立・拠点等整備費補助事業）」（600万円）に採択。全面整備すると3000万円必要なことが分かり、教室やトイレは最低限必要な整備にとどめた。昔の雰囲気がそのまま残ることになり、結果として良かった。
- ・平成25年）月、運営組織「合同会社（LLC）里山工房くもべ」を設立。LLCは、運営しやすそうに見えたプラグに見習った。協議会の一部会を会社にしたので、部長が社長になっている。執行役員4人は無報酬、職員は有給（当初300円/時間、現在は400円/時間）。9集落から出資を募り（200人×5000円/口×2口=200万円）、出資者は社員と同等の扱い。補助金の受入れ窓口は協議会、協議会からLLCに委託の形。体育館とグラウンドは市の施設であり、市からの管理委託費収入がある。
- ・平成25年11月1日にオープン記念式典を開催し、レストランと直売所がスタート。平成26年11月18日にテレビで紹介され、約10日間は毎日約100人の来訪者で賑わった。広島、名古屋から食事だけにやって来る人もいたが、その後寒波が来て客足は止まった。
- ・当初、女性の組織「いずみ会」による月1~2回の予定だったが、材料が余るなどにより回数が増えた。組織での開催が困難になり、個人契約によって地区外の人やボランティアを確保して（半数以上は地区の人）、金~月の4日と祝日のオープンになった。いずみ会は露天商の許可を取っているから、外でのイベントなどに出て行きやすい。
- ・スタッフ数は約20人（厨房9、カフェ8、会計2-全員が毎日出ていない）。年齢は10~70代。現在も黒字経営ではない。毎日60人のカフェ利用があれば経営が安定。
- ・その他の事業として、6教室の工房・ギャラリーとしての貸室（皮靴、革靴、絵画2、木工、丹波木綿）、尼崎市園田地区での野菜販売（1回/2ヶ月）、雲部での黒豆の植付

け～収穫～味噌づくり、元町マルシェへの野菜の出荷などがある。NPO による里山の体験ワークショップが今春から始まる予定。

- ・野菜(工房での利用&販売)の安定供給が難しいが、若手の農業者に呼びかけたら6人が名乗りを上げてくれた。平成27年度、国の補助事業を利用して野菜生産を進めている。
- ・利用者が減らず、雑誌・TVなどで紹介されるのは、地場の素材を使い、自然の出汁を使うなど本物にこだわっているから。料理の経験が豊富で優秀なチーフがいる。器も住民の倉に眠っていたものを提供してもらったり、地元の立杭焼、備前焼(雲部に工房がある)など本物を使用。ランチを優先しながら、余力の範囲内で弁当や出前を行っている。
- ・広報は、テレビ、雑誌などに加えて、ホームページ、フェイスブックなどで情報発信。女性スタッフによるセンスある文章を見てきたという人も多い。利用者の多くは、都市域からのファミリー、若いグループ、ツーリングの人など。
- ・課題は、①原価率の見直し(通常は35～45%だが出来合い・インスタントを使用しないから55%と高くなる)、②後継者の育成と雇用形態の改善(一本釣り、給与の向上)、③安定した利用客の確保(特に金・月曜日、冬場)。
- ・経営的に苦しいが、借金はしていないのが誇り。今田町の「ぬくもりの郷」はオープン7年目で黒字転換したので5年間は頑張りたい。100万円/月あれば成り立つ。儲かる月と儲からない月の全体でプラスになればいい。質を落とさずリピート客を増やすのが鍵。
- ・いろいろな人、いろいろな特技を持った人が出てきて、それらの人の協力によって維持できている(例:フェイスブックが得意な人、美味しい珈琲を入れられる市の職員)。
- ・6教室の利用者は、宣伝をしないのに「ここで仕事をしたい」と集まった。「丹波篠山」のブランド(篠山で造られていることに価値がある)も影響しているかもしれない。



里山工房くもべ入口



カフェ(元教員室)



定食



野菜等販売所(元校長室)



工房&ギャラリー(元教室)



情報コーナー

■第7回「まちあるき」(2月13日)

- ・芳田地区の資源や魅力を再発見するとともに、“ゆめ”プランの実現に向けて利活用する施設の現状を知ることを目的として、22名で芳田地区のまちあるきを行いました。
- ・終了後、女性たちに準備いただいた豚汁をいただきました。参加者からは、「知らないところが多かった」「みんなと話しながら歩けたのが良かった」などの感想が聞かれました。



ふれあい館を出発



ふれあい直売所(岡崎町)



直売所できいきサロン



認定子ども園予定地(落方町)



芳田保育園(落方町)



芳田保育園(落方町)



旧道沿いの街並み(落方町)



産礼神社(落方町)



スイーツファクトリー(落方町)



明楽寺の道標



六所神社(明楽寺)



きつね塚(明楽寺)



住吉神社(水尾)



播州織の工場(水尾)



豚汁をいただきふりかえり

法太の里”ゆめ”委員会 名簿

	団体名	氏名		団体名	氏名
1	ふれあい会議 事務局	長谷川大一郎	22	スポーツクラブ21芳田	青山 剛
2		内橋 勝彦	23	ガーデンボランティア 夢うさぎ	荒木 恵子
3		寺北 建樹	24	芳田ふれあい 直売所	内橋 昌子
4		内橋 寿文	25		宇仁菅通子
5		内橋 敏行	26	消費者協会	青山 眞澄
6		篠田 善健	27	消防団第6分団	増岡 学
7		片浦 敏明	28		丸山 隆志
8		寺下美智子	29	子ども会指導者 連絡協議会	長谷川明大
9	木下 吉郎	30	松本 美和		
10	長尾 芳明	31	篠田 幸一		
11	内橋 保博	32	大久保 光		
12	区長会	四ツ谷博幸	33	芳田学園 PTA	長谷川直樹
13		末廣 英伯	34		田中さなえ
14		内橋 睦治	35		長谷川久美子
15		山口 益巳	36	西脇南中PTA	清瀬 秀行
16		藤原 繁樹	37	コーディネータ	山本 茂
17	民生児童委員会	松山 秀樹	38	まちづくり課長	柳田みどり
18		藤原 重寛	39		
19		長谷川典子	40		
20		長尾ゆかり	41		
21		丸山 弘子	42		